



平成26年6月

Vol. 23



発 行／名田島自治会連合会

編 集／自治会総務部会

印 刷／(株)山口県農協印刷

平成26年度 名田島自治会連合会総会



NATAJIMA

芝生管理グループの名前が“名田島しばもり隊”に決まりました。“名田島小学校の芝生を守るグループ”的意味です。**6月29日(日)** 芝生の植付けをします。ぜひご参加下さい。



「一人一畝運動」を推進
名田島在住で野菜や花作りに興味のある方を募集します。



各集落を対象に「一集落一事業」を推進し、集落からの提案により助成をします。

平成26年4月17日、名田島地域交流センター会議室に於いて、名田島自治会連合会の総会が開催されました。

総会構成員55名中52名の出席で成立宣言がなされ、伊藤武秀会長の指名により民生委員児童委員協議会の伊藤米秋会長が選出され議事が進行、第一号議案から第三号議案まで全て承認されました。

総会終了後、各部会を開催し、新年度事業を確認しました。

新年度のスタートにあたつて

自治会連合会長 伊藤 武秀

社協さんと協働で策定した「第2次まちづくり計画」は2年目を迎えました。この中には、集落や地域の課題を解決するため、また活性化するための方策が凝縮されています。単位自治会や各団体毎に、更なる活用をお願いしたいと思います。

自治会連合会においても、地区民女性を代表して推薦委員2名に加わって頂き、「第2次計画推進チーム」を組織し検討を重ねています。今年度からは左の表のように、独自事業としては休耕田を有効利用しての「一人一畠運動」、積極的な単位自治会をサポートするための「一集落一事業」が始まります。

また、芝生化された小学校グラウンドの利用方法も検討段階に入ります。できるだけたくさんの方に参画して頂ける連合会にしたいと考えておりますので、お気付きの点やご要望がありましたら、遠慮なくお申し出下さるようお願い致します。

第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画 26年度の主な取り組みについて

地域振興

- 住民同志の和を重んじよう
- ・一集落一事業
- 地域づくり機能をみんなで考えよう
- ・一人一畠運動

名田島地域交流センター

あいさつ

所長 榎山由一

名田島自治会連合会におかれましては、平成25年度に「第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」を策定され、行政及び地域の関係団体等と協働して、地域振興や地域福祉等をはじめとする諸事業に銳意取り組まれ、「協働によるまちづくり」を着実に推進しておられます。

このようなか、平成21年度に新たに地域づくり活動や地域課題の解決を支援する機能を附加した総合的な地域づくりの活動の拠点として「名田島地域交流センター」が設置され、自主的な地域づくりがより一層地域に根づき、新たな地域社会の活力を生み出す施設としての役割をはたすこととなりました。

そのために、私達はコミュニケーション（会話）、ホスピタリティ（おもてなし）、インフォメーション（情報報）、スピード（機動性）を実践し、多くの人々の心を満たし、「住んでよかったです、これからも住み続けたい」と実感できる安心・安全な名田島地域」の実現に向けて、日々努力してまいりますので、ご指導及びご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



平成26年度 集落自治会長紹介

島	島	島	島	島
下	下	下	下	下
東	東	東	東	東
開	開	開	開	開
作	作	作	作	作
向	向	向	向	向
山	山	山	山	山
上	上	上	上	上
山	山	山	山	山
崎	崎	崎	崎	崎
和	和	和	和	和

26年度新役員のみなさん



平成26年度名田島自治会連合会予算書

【収 入】

(単位：円)

科 目	26年度予算	25年度予算	比較増減
前年度繰越金	1,837,023	1,935,507	△ 98,484
自治会費	559,200	566,400	△ 7,200
寄付金	70,000	70,000	0
補助金	8,680,000	8,469,000	211,000
雑収入	3,777	163,093	△ 159,316
合 計	11,150,000	11,204,000	△ 54,000



新設や変更した科目

○全般事業	第2次計画推進費
	イベント補助
	小学校芝生化
○運営費	— 事務費
○人件費	— 賃金
	— 労働保険
	— 交際費・交通費他

各主要事業の推進方針

活動方針

- ・『第2次協働・福祉のまちづくり計画』に則り、事業計画を立案する。
- ・会員や委員からの意見や提案を積極的にとり入れ、連合会活動の活性化に資する。

活動計画

【連合会全般】

- ・組織のあり方や部会構成を見直す。
- ・6/29小学校校庭への芝生植付けイベントを実施する。
- 各層への参加協力を要請。
- ・連合会を市の自主防災組織として認定してもらうべく、必要な手続きに入る。
- ・『第2次まちづくり計画』の趣旨に添って「一集落一事業」及び「一人一畠運動」を推進する。



名田島自治会連合会災害対応積立金

当地区的大部分が干拓地で海拔が低いことから、大雨高潮・津波等の危険性が高いため、住民の大規模避難を要する事態が発生したとき迅速な応急対応がとれるよう、毎年50万円を限度に当面300万円を目標額とし一般財源から積み立てるものとした。

【支 出】

(単位：円)

科 目	26年度予算	25年度予算	比較増減
総務部会	385,000	920,000	△ 535,000
生涯学習部会	670,000	734,000	△ 64,000
健康福祉部会	484,000	500,000	△ 16,000
生活環境部会	2,500,000	3,005,000	△ 505,000
防災部会	330,000	260,000	70,000
全般事業	1,500,000	500,000	1,000,000
負担金	50,000	50,000	0
運営費	732,240	715,880	16,360
人件費	3,167,760	3,097,120	70,640
積立金	500,000	500,000	0
予備費	831,000	922,000	△ 91,000
合 計	11,150,000	11,204,000	△ 54,000

(災害積立金会計)

(単位：円)

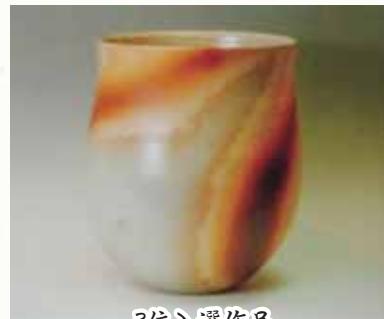
項 目	金 額	内 訳
前年度繰越金	500,000	
今年度積立金	500,000	一般会計から
利 息	1,000	
合 計	1,001,000	

名田島「たくみ」の技

バラ栽培の達人
松崎 勝正 氏(東開作)



陶芸の達人
武田 康彦 氏(向山下)



教員を退き、60才の時、自分自身の作品ができるという楽しみを知ったことが陶芸を始めたきっかけです。当時、山口ふるさと伝承総合センターの陶芸教室を皮切りに、大内の菅内窯で萩焼を学びました。

陶芸を始めて8年目に右下の作品が九州山口陶磁器展で3位に入選し、大いに励みとなり、陶芸教室も開きました。

手先を使うので「ボケ」防止にもなります。今後は、兄の遺作である七宝焼きを手がけてみたいと思っています。

気軽に遊びに来てください。